

平成30年度
鹿児島大学大学院農学研究科（修士課程）

第3次 学生募集要項

（特別選抜による社会人募集要項を含む）

鹿児島大学大学院農学研究科

鹿児島大学大学院農学研究科入学者受入方針（アドミッションポリシー）

農学研究科は、人の健全な生活の基盤である農林業、食、環境、生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い、農学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え、地域に貢献できる人材、さらには世界で活躍できる人材を養成することを教育目標とする。

【農学研究科】

農学研究科では、人の健全な生活の基盤である食、環境、生命科学などの分野に関して基本概念と知識を修得しており、また高い関心を持つ以下のような学生を求めている。

- (1)農学が取り扱う学問領域の中の専門分野について十分な学力を有している人
- (2)農学が取り扱う学問領域の中の専門分野に関する語学（特に、英語）について十分な能力を有している人
- (3)農学が取り扱う学問領域の中の特定の研究課題について取り組む意欲のある人

【生物生産学専攻】

生物生産学専攻では、農産物や家畜の生産、管理、流通に指導的立場で携わり、また関連の分野の研究を自立して遂行できる専門職業人・研究者等、国内外で活躍できる高資質の人材の育成を教育目標とする。

生物生産学専攻の求める人材像

- (1)学部教育で培われた語学力、専門的知識・技術を備えている人
- (2)栽培、飼育、実験もしくは調査に関する科学的探求心や知的好奇心を持つ人
- (3)農業や食料生産及び農産物流通に関心を持ち、問題解決に取り組める人
- (4)農村地域や農村社会に関心を持ち、問題提起ができる人
- (5)農産物や家畜の生産に関する新技術やバイオテクノロジーの修得に関心を持ち、さらなる応用・展開に取り組める人

【生物資源化学専攻】

生物資源化学専攻は、動植物・微生物の構成成分とその機能、食品の製造・栄養と機能、農産物の生産・保存・利用、土壌とその機能などに関する分野で活躍できる専門職業人や研究者の育成を教育目標とする。

生物資源化学専攻の求める人材像

- (1)生命現象、バイオテクノロジー、食品に関する十分な学力を備えている人
- (2)生命現象、バイオテクノロジー、食品に関する特定の研究課題に取り組む意欲のある人
- (3)動植物・微生物の生命現象や食料、食品、発酵に高い関心を持つ人
- (4)バイオテクノロジーの新技術に高い関心を持つ人

【生物環境学専攻】

生物環境学専攻は、森林の利用と保全、人間を取り巻く自然・生活環境の改善と維持、ならびに農業生産基盤と農産物の生産・加工・保存技術に携わる高度専門技術者や研究者の育成を教育目標とする。

生物環境学専攻の求める人材像

- (1)森林生態系の機能と構造ならびに森林資源の管理や利用に関する興味と研究への意欲を持つ人
- (2)木質資源の循環型利用と高度利用、居住空間の環境改善、森林による水土保全、土砂災害防止等に関心のある人
- (3)バイオマス資源の利活用、食品の安全・品質の確保、環境や生体情報の解析等に意欲のある人
- (4)水資源の利用管理と水環境の保全、農地の保全と管理に興味があり研究への熱意を持つ人

目 次

(一般選抜)	頁
I 募集人員	1
II 出願資格	1
III 出願書類等	3
IV 出願手続	4
V 選抜方法	5
VI 合格者発表	6
VII 入学手続	6
VIII 出願上の留意事項	6
IX その他	7
(社会人特別選抜)	
I 募集人員	9
II 出願資格	9
III 出願書類等	11
IV 出願手続	11
V 選抜方法	12
VI 合格者発表	12
(VII 入学手続, VIII 出願上の留意事項, IX その他については, 6頁～7頁を参照)	
X 長期履修学生制度について	12
XI 社会人奨学金制度(武元忠男教育研究助成基金)について	12
専攻・講座等名及び講座等の内容	13
教育研究分野の内容	15
入学者選抜試験個人成績の開示	18
出願書類様式	
個人情報の取り扱いについて	
検定料の払込みについて	

入学者選抜実施日程(一般選抜及び社会人特別選抜)

出願期間	平成30年2月26日(月)～28日(水)
選抜実施日	平成30年3月13日(火)
合格者発表日	平成30年3月21日(水)
入学手続日	平成30年3月下旬

I 募集人員（一般選抜）

研究科	専攻	講座等	教育研究分野	募集人員
農学研究科	生物生産学	作物生産学 園芸生産学 病害虫制御学 家畜生産学 農業経営経済学	作物学 熱帯作物学 植物育種学 植物分子生物学 果樹園芸学 蔬菜園芸学 観賞園芸学 植物病理学 害虫学 家畜繁殖学 家畜育種学 家畜管理学 食肉科学 農業経済学 農業市場学 農業経営学	8
	生物資源化学	生命機能化学 食品機能化学 食糧生産化学 焼酎学	生分子機能学 応用分子微生物学 応用糖質化学 生命高分子化学 ナノ・バイオテクノロジー 食品分子機能学 栄養生化学・飼料化学 食品化学 先端バイオテクノロジー（分子生物学） 土壌科学 植物栄養・肥料学 食品保蔵学 焼酎製造学 醸造微生物学	若干人
	生物環境学	森林管理学 地域資源環境学 環境システム学 生産環境工学	育林学 森林計画学 森林政策学 森林保護学 木質資源利用学 砂防・森林水文学 農業環境システム学 食料環境システム学 環境情報システム学 利水工学 農地工学	9

募集人員は社会人特別選抜、「再チャレンジ支援プログラム」社会人特別選抜の若干人を含む。

II 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣が指定した者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 30 年 3 月末において 22 歳に達するもの（注 1）

（注 1）出願資格（8）における個別の出願資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。これにより出願を希望する場合は個別の事前審査が必要です。詳細は 2 頁を参照してください。

出願資格（８）の個別出願資格審査について

（１）出願資格の照会

出願資格（８）による出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、平成３０年２月２１日（水）までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係まで出願資格審査申請書を受け取りに来てください。

なお、郵送による請求の場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科出願資格審査申請書請求」と朱書きして、宛名明記の返信用封筒（角形２号封筒に４００円分の切手貼付）を同封の上、平成３０年２月２１日（水）までに手元に届くように請求してください。

（２）書類の提出

本研究科の指定する下記の書類を一括して平成３０年２月２２日（木）（９時～１６時）までに農学部・共同獣医学部等学務課学生係に提出してください。

なお、郵送の場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書きしてください。平成３０年２月２２日（木）１７時までに必着とします。

（３）事前審査の結果通知

審査の結果は直接本人に連絡します。出願資格の認定を受けた者には、審査結果とともに出願方法等についても通知します。

（４）出願資格審査提出書類

提出書類	備考
入学試験出願資格審査申請書	・本研究科所定のもの
志望理由書	・本研究科所定のもの（１,０００字程度）
最終出身学校の成績証明書と卒業証明書	・発行者において厳封したもの（改ざん防止用紙で作成してある場合は厳封不要）
最終出身学校の教育課程表とシラバス	
職歴等証明書	・最終出身学校卒業後の履歴を証明するもの
返信用封筒	・郵便番号、住所、氏名を明記の上、３６２円分の切手を貼付した長形３号封筒を同封すること

Ⅲ 出願書類等

区	分	備 考
①	入学願書 履歴書 入学志願者写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること。 ・写真（5cm × 4cm）は上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
②	出身学校の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・発行者において厳封したもの（改ざん防止用紙で作成してある場合は厳封不要）
③	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を用いて1,000字程度でまとめること。
④	卒業証明書又は 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長（学部長・校長）が作成したもの（本学農学部を卒業見込みの者は不要） ・出願資格（2）に該当する志願者は次の書類を提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ア) 学位取得者：「学位記」の写し又は「学位取得証明書」 イ) 学位取得見込者：在籍する短期大学又は高等専門学校の長が発行する「修了見込証明書」及び「学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書」
⑤	入学検定料納付確認票	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は30,000円です。 ・本学所定の用紙を用いて郵便局窓口で検定料を払い込み、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学検定料納付確認票」に貼付して提出してください。その際、日附印欄の押印を確認してください。 ・既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。 <ul style="list-style-type: none"> ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑥	宛名シール	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に添付された「宛名シール」に郵便番号・住所・氏名を記入し、提出すること。
⑦	返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号・住所・氏名を明記の上、362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること。
⑧	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し（在留資格が記載されたもの）」を、その他の者は「パスポートの写し」を提出すること。

IV 出願手続

(1) 出願期間

平成30年2月26日(月)～平成30年2月28日(水)

受付時間 9時～16時

郵送の場合は「速達書留」とし、平成30年2月28日(水)17時までに必着とします。

(2) 提出先

上記書類を一括して、所定の期日までに農学部・共同獣医学部等学務課学生係へ提出してください。

郵送の場合：〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

V 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、筆記試験および口頭試問により行い、総合的に可否を判定します。また、出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

(2) 筆記試験

・外国語・・・英語，日本語＊ ・専門科目・・・次表参照

専攻	専門科目(講座等)	教育研究分野	専門科目の出題方法
生物生産学	作物生産学	作物学 熱帯作物学 植物育種学 植物分子生物学	左記の4教育研究分野の問題から、志望する分野を含む2分野を選択して解答する (なお、熱帯作物学は熱帯作物学、国際農業資源学から1問を選択する)
	園芸生産学	果樹園芸学 蔬菜園芸学 観賞園芸学	左記の3教育研究分野の問題から、志望する分野を含む2分野を選択して解答する
	病害虫制御学	植物病理学 害虫学	左記の2教育研究分野の設問について解答する
	家畜生産学	家畜繁殖学 家畜育種学 家畜管理学 食肉科学	左記の4教育研究分野の問題から、志望する分野のみを選択して解答する
	農業経営経済学	農業経済学 農業市場学 農業経営学	左記の3教育研究分野の問題から、志望する分野を含む2分野を選択して解答する
生物資源化学	生命機能化学	生分子機能学 応用分子微生物学 応用糖質化学 生命高分子化学 ナノ・バイオテクノロジー	生物化学(生体成分の構造と機能、代謝と生合成、遺伝子と遺伝子発現)の問題を解答する
	食品機能化学	食品分子機能学 栄養生化学・飼料化学 食品化学 先端バイオテクノロジー (分子生物学)	左記の4教育研究分野から、志望する分野のみを選択して解答する
	食糧生産化学	土壌科学 植物栄養・肥料学 食品保蔵学	左記の3教育研究分野から、志望する分野のみを選択して解答する
	焼酎学	焼酎製造学 醸造微生物学	左記の2教育研究分野の設問について解答する
生物環境学	森林管理学	育林学 森林計画学 森林政策学 森林保護学	左記の4教育研究分野の問題から、志望する分野を含む2分野を選択して解答する
	地域資源環境学	木質資源利用学 砂防・森林水文学	左記の2教育研究分野から、志望する分野のみを選択して解答する
	環境システム学	農業環境システム学 食料環境システム学 環境情報システム学	左記の3教育研究分野のうち、志望する分野の設問と基礎分野(数学、流体力学、材料力学)の設問について解答する
	生産環境工学	利水工学 農地工学	左記の2教育研究分野のうち、志望する分野の設問と基礎分野(数学、水理学、構造力学)の設問について解答する

・日本語＊：外国人志願者のみ選択できます。

・専門科目によっては、大学が準備した電卓を貸与し、使用を認めることがあります。

(3) 筆記試験・口頭試問の日時・場所

試験区分	月 日	時 間	試 験 場
専門科目	平成30年3月13日(火)	9時～12時	鹿児島大学農学部 (詳細は別途通知します。)
外国語		13時～15時	
口頭試問		15時30分～	

(4) 筆記試験の配点は、外国語「100点」、専門科目「200点」、口頭試問は「可または否」の評語により評価します。

VI 合格者発表

平成30年3月21日(水) 10時

農・獣医共通棟正面玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人に合格通知書を郵送します。また、鹿児島大学農学部・大学院農学研究科ホームページ (<http://acel.agri.kagoshima-u.ac.jp/>) にも掲載します。

なお、電話・メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

VII 入学手続

合格者への入学手続等関係書類は、平成30年3月下旬に送付する予定です。

(1) 入学手続期間 平成30年3月下旬

(2) 納付金

入学料 282,000円(入学料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。)

授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)

(授業料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。)

- 1) 願い出により選考の上、免除される制度があります。
- 2) 在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。
- 3) 詳しくは入学手続き時に案内します。

VIII 出願上の留意事項

- (1) 出願書類を郵送する場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受け付けません。
- (3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しは行いません。
- (4) 出願書類の請求は、封筒に「修士課程学生募集要項請求」と朱書きし、宛名明記の返信用封筒(角型2号封筒に205円分の切手貼付、速達の場合は485円分の切手貼付)を同封の上、下記に請求してください。

請求先：〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

TEL:099-285-3553 FAX:099-285-3533

E-mail:nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

IX その他

(1) 教員免許状

教員免許法及び同施行規則に定める所定の単位を修得し、各専攻において所定の単位を履修した者は、高等学校教諭専修免許状（農業、理科、工業）及び中学校教諭専修免許状（理科）を取得することができます。

専攻	免許状の種類	免許教科
生物生産学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	農業、理科
生物資源化学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	農業、理科
生物環境学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	農業、理科、工業

(2) 障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠しています。

① 時期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないことがありますので、平成30年2月22日（木）までに相談してください。

② 方法

電話または本研究科での相談いずれでもかまいませんが、下記事項等を記載した書類（様式任意）を提出していただく場合もあります。

- ア. 氏名、生年月日、志願する研究科の分野名
- イ. 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります。）
- ウ. 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- エ. 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- オ. 日常生活の状況
- カ. 本人の現住所及び電話番号、保護者の連絡先
- キ. その他参考資料（身体障害者手帳等の写し）

③ 問い合わせ先

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号
TEL 099-285-3553
FAX 099-285-3533

（3）「専攻・講座等名及び講座等の内容」及び「教育研究分野の内容」は13頁以降に掲載しています。

(特別選抜による社会人募集要項)

特別選抜による社会人の受入れ及び夜間開講について

急速な技術革新や社会経済の進展，加えて生涯教育の一環として，大学を卒業して教育界や官公庁あるいは企業等のそれぞれの職場で活躍している社会人の間で，さらに高度な学識や技術を修得するため大学院へ進学しようとする気運が高まっています。

このような社会人にとっては，かつて大学で学んだ学問よりも，卒業後の仕事や職場における経験を通して培われた知識や技術が新鮮な学力として身についています。

鹿児島大学大学院農学研究科では，このような向学の志を抱く社会人を受け入れるために，現役の学生に課す学力試験に替えて，社会人にふさわしい口頭試問を主体にした特別選抜を行い，その資質と意欲を評価しようとする制度を設けています。社会人の大学院における再教育は，所属する職員や社員等，個人の自己啓発にとどまらず，それぞれの職場に新風を送り，活性化を促進するものと確信します。我が国がこれから目指す高度な教育社会の実現に大きく貢献することでしょう。

多くの職場や専従している各種現場等において，この社会人特別選抜による進学が可能となるような職員や社員等の派遣する措置が講じられることを期待します。

出願希望者は，その専門性に鑑み，入学を希望する研究分野について熟知するため，出願以前に出願予定の分野に関連する講座と相互に十分協議されることを希望します。

大学院設置基準では，社会人の就学に特別措置を行うことが配慮されています。本研究科では，平成14年度から大学院で履修を希望する社会人に対して教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は以下のとおりです。

- (1) 修業年限のうち1年はフルタイムの通学を原則とします。
- (2) 特例による授業時間帯は6時限（17時50分～19時20分）とし，この授業により修得した単位のうち10単位までを課程修了に必要な単位数（30単位）に含めることができます。
- (3) 履修計画は指導教員の指導のもとに作成します。

I 募集人員（社会人特別選抜）

研究科	専攻	講座等	教育研究分野	募集人員
農学研究科	生物生産学	作物生産学 園芸生産学 病虫害制御学 家畜生産学 農業経営経済学	作物学 熱帯作物学 植物育種学 植物分子生物学 園芸生産学果樹園芸学 蔬菜園芸学 観賞園芸学 植物病理学 害虫学 家畜繁殖学 家畜育種学 家畜管理学 食肉科学 農業経済学 農業市場学 農業経営学	若干人
	生物資源化学	生命機能化学 食品機能化学 食糧生産化学 焼酎学	生分子機能学 応用分子微生物学 応用糖質化学 生命高分子化学 ナノ・バイオテクノロジー 食品分子機能学 栄養生化学・飼料化学 食品化学 先端バイオテクノロジー（分子生物学） 土壌科学 植物栄養・肥料学 食品保蔵学 焼酎製造学 醸造微生物学	若干人
	生物環境学	森林管理学 地域資源環境学 環境システム学 生産環境工学	育林学 森林計画学 森林政策学 森林保護学 木質資源利用学 砂防・森林水文学 農業環境システム学 食料環境システム学 環境情報システム学 利水工学 農地工学	若干人

II 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、2年以上（平成30年3月31日までの間）教育・研究機関、官公庁、あるいは企業等（自営業、農林業、青年海外協力隊およびNPOの実績も含む）において上記の教育研究分野に関連した現業に従事している者、又は従事した者とします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- (6) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者
- (7) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣が指定した者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月末において22歳に達するもの（注1）

（注1）出願資格（8）における個別の出願資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。これにより出願を希望する場合は個別の事前審査が必要です。詳細は10頁を参照して下さい。

出願資格（８）の個別出願資格審査について

（１）出願資格の照会

出願資格（８）による出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、平成３０年２月２１日（水）までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係まで出願資格審査申請書を受け取りに来てください。

なお、郵送による請求の場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科出願資格審査申請書請求」と朱書きして、宛名明記の返信用封筒（角形２号封筒に４００円分の切手貼付）を同封の上、平成３０年２月２１日（水）までに手元に届くように請求してください。

（２）書類の提出

本研究科の指定する下記の書類を一括して平成３０年２月２２日（木）（９時～１６時）までに農学部・共同獣医学部等学務課学生係に提出してください。

なお、郵送の場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書きしてください。平成３０年２月２２日（木）１７時までに必着とします。

（３）事前審査の結果通知

審査の結果は直接本人宛に発送します。出願資格の認定を受けた者には、審査結果とともに出願方法等についても通知します。

（４）出願資格審査提出書類

提出書類	備考
入学試験出願資格審査申請書	・本研究科所定のもの
推薦書	・勤務先所属長の推薦書，従事した勤務先所属長の推薦書，又は従事していることを証明できる地域の公設関係機関の長の推薦書
履歴書	・本研究科所定のもの
志望理由書	・本研究科所定のもの（１,０００字程度）
卒業証明書	・最終出身学校が作成したもの
研究計画書	・本研究科所定のもの（本研究科において行おうとする研究内容を２,０００字程度で記すこと）。なお募集要項１５～１７ページ（教育研究分野の内容）を参照の上，指導予定教員と十分打ち合わせして作成し，指導予定教員氏名欄に署名，押印を受けること
活動歴報告書	・現在までの教育・研究等の活動歴や実務経験等について，本人の業績（研究論文，技術報告書，特許，実用新案，その他参考となる資料等）を含め，具体的に記述したもの
返信用封筒	・郵便番号，住所，氏名を明記の上，３６２円分の切手を貼付した長形３号封筒を同封すること

Ⅲ 出願書類等

区 分	備 考
① 入学願書 履歴書 入学志願者写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること。 ・写真（5cm ×4cm）は上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
② 出身学校の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・発行者において厳封したもの（改ざん防止用紙で作成してある場合は厳封不要）
③ 志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を用いて1,000字程度でまとめること。
④ 卒業証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長（学部長・校長）が作成したもの ・出願資格（2）に該当する志願者は「学位記」の写し又は「学位取得証明書」を提出すること。
⑤ 入学検定料納付確認票	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は30,000円です。 ・本学所定の用紙を用いて郵便局窓口で検定料を払い込み、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学検定料納付確認票」に貼付して提出してください。その際、日附印欄の押印を確認してください。 ・既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。 <ul style="list-style-type: none"> ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑥ 宛名シール	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に添付された「宛名シール」に郵便番号・住所・氏名を記入し、提出すること。
⑦ 返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号・住所・氏名を明記の上、362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること。
⑧ 受験許可証	<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁、企業等に勤務中の者のみ提出すること。
⑨ 推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の様式に勤務先所属長、従事した勤務先所属長または従事していることを証明できる地域の公設関係機関の長が作成したもの
⑩ 研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科において行おうとする研究内容を2,000字程度でまとめること。
⑪ 活動歴報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の業績（研究論文、技術報告書、特許、実用新案、その他参考となる資料）の目録と内容（概略）を示すもの
⑫ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し（在留資格が記載されたもの）」を、その他の者は「パスポートの写し」を提出すること。

Ⅳ 出願手続

(1) 出願期間

平成30年2月26日（月）～平成30年2月28日（水）

受付時間 9時～16時

郵送の場合は「速達書留」とし、平成30年2月28日（水）17時までに必着とします。

(2) 提出先

上記書類を一括して、所定の期日までに農学部・共同獣医学部等学務課学生係へ提出してください。

郵送の場合：〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

V 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、口頭試問により行い、合否を判定します。また、出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

(2) 口頭試問の日時・場所

試験区分	月 日	時 間	試 験 場
口頭試問	平成30年3月13日(火)	15時30分～	鹿児島大学農学部 (詳細は別途通知します。)

(3) 口頭試問は「A・B・C」の三段階で評価し、AおよびBの者を合格、Cの者を不合格とします。

VI 合格者発表

平成30年3月21日(水) 10時

農・獣医共通棟正面玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人に合格通知書を郵送します。また、鹿児島大学農学部・大学院農学研究科ホームページ (<http://acel.agri.kagoshima-u.ac.jp/>) にも掲載します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

VII 入学手続

6頁を参照してください。

VIII 出願上の留意事項

6頁を参照してください。

IX その他(教員免許状等)

7頁を参照してください。

X 長期履修学生制度について

本研究科には長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準年限で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて1年または2年を加えた期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定するものです。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

ただし、農学研究科の社会人特別選抜の大学院生は、1年目はフルタイムの通学が原則となっています。この申請ができるのは、2年次進級前となります。希望者は指導教員と相談のうえ事前(学年開始前)に農学部・共同獣医学部等学務課教務係に申し出てください。

XI 社会人奨学金制度(武元忠男教育研究助成基金)について

本研究科では、社会人特別選抜学生の修学を支援するために、農学部・共同獣医学部武元忠男教育研究助成基金を活用した社会人奨学金制度を設けています。これは社会人入学生の中から、修学条件や将来性を勘案して、助成するものです。

申請は入学後に受け付け、受給者は同基金運営委員会で審議し決定いたします。
(変更する場合があります。)

専攻・講座等名及び講座等の内容

生物生産学専攻

講 座 名	講 座 の 内 容
作物生産学	基本食糧として重要性が高い農産物について生産性・品質の向上及び安全性の確保を図ることを目的とし、先端技術による有用遺伝形質の作物への導入、熱帯・亜熱帯の遺伝資源の導入と利用、及びこれら各種作物の持続的生産技術の開発について基礎と応用の教育研究を行う。
園芸生産学	園芸作物の生理・生態、栽培、遺伝、育種、バイオテクノロジーなどの基礎及び応用研究を通じて、園芸生産の発展に広く寄与することのできる人材の育成を目的とした教育研究を行う。
病虫害制御学	有用植物の生育に阻害要因として作用する細菌・糸状菌・ウイルス・線虫・昆虫の分類、生理、生態及び寄主植物との相互作用を研究し、有害微生物・昆虫・ウイルスの制御法についての原理・技術を習得できるような教育研究を行う。
家畜生産学	家畜の繁殖現象の解明、動物遺伝資源の評価と利用及び家畜の飼養管理、動物の行動と生態、さらに、バイオテクノロジーの技術を生かした動物細胞の操作・利用や動物の遺伝と品種改良などについての教育研究を行う。
農業経営経済学	国際的比較のもとで、農業生産及び農村社会にかかわる社会経済的諸関係並びに農業経営、農業情報、農産物市場、関連産業等の基礎的及び応用的研究を通じて地域農業の合理的発展に寄与できる教育研究を行う。

生物資源化学専攻

講座等名	講 座 等 の 内 容
生命機能化学	多様な生命機能の解明と、その応用をめざす。生体成分の分離分析、微生物や細胞系の遺伝子分離や機能開発、新たな生物資源の利用と物質生産を通じて、化学的見地からバイオサイエンスの基礎と応用の教育研究を行う。
食品機能化学	「食と健康」の立場から、食品、食品素材、飼料に含まれる機能性成分の分離と同定ならびに食品・飼料の栄養機能、生体調節機能、遺伝子制御機能及び先端バイオテクノロジー技術を生かした食品機能の開発、さらに食品・飼料の安全性、加工、新素材開発について教育研究を行う。
食糧生産化学	食糧生産の原点である土壌から植物の栄養、ポストハーベストまで物質循環を基本とし、地球環境に配慮して、理化学、生化学的手法に基づいて安全、高品質な食糧の持続的供給をめざした教育研究を行う。
焼 酎 学	焼酎製造技術の修得や世界の酒との比較を通じて焼酎の独自性を学ぶとともに、これからの発展に向けた製造技術の開発を行う。 また、麹菌や酵母を研究対象として、有用微生物の収集や育種を行い新たな酒質の創造を図るとともに、醸造微生物の新たな可能性を探る。

生物環境学専攻

講座名	講座の内容
森林管理学	生物・生態学的側面からの森林の解明，循環的な森林利用・再生産のための技術・管理計画，森林・林業に関わる社会経済・政策研究を通じて，森林の保護及び利用における人間の関与のあり方について教育研究を行う。
地域資源環境学	地域資源がもつ多様な機能を，土地保全，水資源涵養，居住空間の環境改善や環境に適合した高機能性木質材料の開発など，循環系として広範囲にわたった有効活用の視点から，理工学的手法を基礎に教育研究を行う。
環境システム学	食料生産・消費活動の中で地域資源循環型社会を構築するため，バイオマス資源や自然エネルギーの利活用，食品の安全・品質の確保と有機廃棄物の有効利用，農林業の生産における環境情報と生態情報の解析にあたり，これらをシステム的に思考できる人材の育成を目的とした教育研究を行う。
生産環境工学	農業農村の多面的機能の評価，及び生物生産の基礎となる土地資源及び水資源の保全，整備及び有効利用のための理論と技術の確立に関して，理工学的手法に基づいた教育研究を行う。

教育研究分野の内容

生物生産学専攻

専攻	講座	教育研究分野	指導教員	分野の内容	
生物 生産学	作物生産学	作物学	下田代智英	作物の生育と収量成立過程の生態的解明と栽培技術の開発	
		熱帯作物学	坂上 潤一 角 明夫 遠城 道雄 朴 炳幸 志水 勝好	多様な熱帯環境における作物の生産性に関する生理・生態的解明と世界の農業資源の有効利用についての多面的な研究	
		植物育種学	一谷 勝之	作物の交雑，突然変異誘発などによる遺伝変異の拡大，植物育種上の有用な遺伝子の分析，作物の起源と品種分化に関する研究	
		植物分子生物学	岡本 繁久	植物生理学及び分子遺伝学的手法を用いた高等植物の発生成長に関する研究及び作物の分子育種	
	園芸生産学	果樹園芸学	山本 雅史 香西 直子	果樹の生産にかかわる生理・生態の解明と果樹遺伝資源の開発・評価・利用等，暖地果樹栽培の発展に貢献する研究	
		蔬菜園芸学	吉田理一郎	野菜の生理・遺伝と栽培・育種に関する研究	
		観賞園芸学	橋本 文雄 清水 圭一	植物遺伝資源の収集と交雑育種，有用形質の多面的評価，有用遺伝子の解析並びに細胞操作による新規植物の育種	
	病害虫制御学	植物病理学	岩井 久 中村 正幸	植物病原微生物・ウイルスの分類，生理，生態並びに感染・発病機構の解明	
		害虫学	津田 勝男 坂巻 祥孝	昆虫の分類，生理，生態及び害虫の総合防除	
	家畜 生産学	家畜生産学	家畜繁殖学	三好 和睦 大久津昌治	家畜の繁殖生理の解明，動物の人工繁殖及び発生工学
			家畜育種学	岡本 新 下桐 猛	家畜の遺伝と改良に関する DNA，染色体，代謝制御レベル及び集団遺伝学的解析
			家畜管理学	中西 良孝 高山 耕二 大島 一郎	環境調和型・資源循環型家畜生産技術の開発
食肉科学			後藤 貴文	栄養，おいしさ及び疾病予防に貢献する食肉の生産から加工まで包含した先端科学的探究	
農業経営経済学		農業経済学	田代 正一 坂井 教郎	先進諸国及び開発途上国の農業の動態的变化に対する理論的，実証的な分析	
	農業市場学	豊 智行	農産物・加工食品・農業資材等の流通機構および食の安全・安心に関する経済分析		
	農業経営学	李 哉滋	農業経営における効率的農産物生産のための技術的及び経済的諸条件の解明		

生物資源化学専攻

専攻	講座等	教育研究分野	指導教員	分野の内容
生物	生命機能化学	生分子機能学	南 雄二 加治屋勝子	生理活性物質の構造、機能及び活性発現機構の解明 生体機能性物質の構造と機能性発現機構の解析ならびに 生命科学への応用
		応用分子微生物学	石橋松二郎 鶴丸 博人	微生物及び関連した機能の遺伝子レベルでの解明、有用物 質生産、醸造・環境科学への貢献
		応用糖質化学	北原 兼文 藤田 清貴	糖質資源の化学と利用、特に根菜類の澱粉・細胞壁多糖の 構造と機能及びビフィズス菌による難消化性糖質の代謝 機構の解明
		生命高分子化学	安部 淳一 花城 勲	澱粉の分子構造、生合成と分解酵素の機能の解明、遺伝子 操作による酵素の機能改良と新機能性澱粉の創製
		ナノ・バイオテクノロジー	M.C.M フェス ターガード	食品や農業分野等におけるバイオセンサーおよびバイオ ミメティック技術の応用
資源	食品機能化学	食品分子機能学	侯 徳興 坂尾こず枝	動植物成分の持つ生体調節機能について個体・細胞レベル から遺伝子発現制御レベルでの解明及び機能性食品開発 への利用
		栄養生化学・飼料化学	大塚 彰 井尻 大地	未利用飼料資源および新規飼料添加物の評価、動物の初期 成長における栄養、体タンパク質ならびに脂質の代謝調節 に関する分子機構
		食品化学	イブラヒム ヒッサム 宮田 健	食品タンパク質の構造と機能の解明および機能性ペプチ ドの生理作用と有効利用
		先端バイオテクノロジー (連携大学院)	峰野 純一 榎 竜嗣 大野木 宏	先端バイオテクノロジーを用いた食品成分の機能性解明 と開発、細胞遺伝子工学の先端技術開発 連携先：タカラバイオ (株)
化学	食糧生産化学	土壌科学	境 雅夫 池永 誠	土壌生態系の構造と機能の解析および土壌微生物機能の 植物生育と環境保全への利用
		植物栄養・肥料学	樗木 直也 赤木 功	植物の栄養生理と生理障害に関する研究、肥料資源の有効 利用、農耕地における各種元素の分布と作物生育への影響
		食品保蔵学	渡部 由香 濱中 大介	農産物およびその加工食品の保存期間延長法の開発と含 有機機能性成分の解析、食中毒や腐敗原因となる微生物の増 殖特性の解析および殺菌処理法の開発
学	焼酎学	焼酎製造学	高峯 和則 吉崎由美子 奥津 果優	新規製造システムの開発、長期熟成に適した酒質の開発、 焼酎の香気成分の同定と生成挙動の解明、焼酎副産物の有 効利用、発酵食品の機能性物質の検索
		醸造微生物学	玉置 尚徳 二神 泰基	醸造微生物に関する機能の分子・細胞レベルでの解明と育 種への応用

生物環境学専攻

専攻	講座等	教育研究分野	指導教員	分野の内容
生物	森林管理	育林学	藤澤 義武 鶴川 信	樹木の生態的特性, 木本群落の動態, 森林生態系の物質循環の解明を通じた森林の保全・育成技術の高度化
		森林計画学	寺岡 行雄 岡 勝 加治佐 剛	森林資源の持続的な利用のための森林計測と計画技術, および森林利用や林業生産技術の探究
		森林政策学	枚田 邦宏 井倉 洋二 奥山洋一郎	森林資源の多面的利用の現状と構造に対する社会科学的側面からの分析, およびこれに基づく持続的な森林管理のための政策の検討
		森林保護学	畑 邦彦	森林に生息する動物や微生物の生態や森林生態系の動態に果たす役割の解明, および森林生態系保全技術の体系の確立
環境	地域資源環境学	木質資源利用学	西野 吉彦 服部 芳明	木質資源の機能, 特性の解明, 環境に適合した先端的技術, ならびにゼロエミッションの考え方を取り入れた生活環境の機能向上への応用
		砂防・森林水文学	地頭菌 隆 寺本 行芳	地域防災, 火山地域における土砂災害の発生機構と予測, 流域管理のための森林の機能解明とその活用
学	環境システム学	農業環境システム学	岩崎 浩一 末吉 武志	バイオマス資源と自然エネルギー利用などを中心に農業生産における環境問題をシステムの的に解決する手法の開発
		食料環境システム学	紙谷 喜則	食品の安全・品質の確保と有機廃棄物の有効利用などを中心に食料生産・流通において発生する環境問題をシステムの的に解決する手法の開発
		環境情報システム学	芝山 道郎 神田 英司	農林業の生産における環境情報と生態情報の解析により生じる問題をシステムの的に解決する手法の開発
	生産環境工学	利水工学	糸井 和朗 伊藤 祐二	水環境制御システムの理論の確立及び水資源の保全と有効利用
		農地工学	肥山 浩樹 平 瑞樹	農業や農村の持つ多面的機能の評価及び土環境の整備や保全技術の確立

※ 各指導教員の研究内容については鹿児島大学のホームページから「鹿児島大学研究者総覧」を参照してください。URL:<http://ris.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>です。

入学者選抜試験個人成績の開示

平成30年度入学者選抜に係る受験生の個人成績を次の要領で開示します。

1. 開示内容

個々の科目の得点または評価と総合得点を開示します。

2. 開示期間

開示期間は合格発表後2ヶ月間です。(平日の9時から16時)

3. 開示請求者

開示請求者は受験生本人に限ります。(代理人による請求は認めません。)

4. 開示方法

(1) 直接窓口で請求される場合

「大学院入試情報開示請求書」「平成30年度鹿児島大学大学院農学研究科受験票」を必ず持参して、農学部・共同獣医学部等学務課学生係にお越しくください。

(2) 郵送で請求される場合

下記の①～③を揃えて、必ず簡易書留とし、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きしてください。ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。

① 大学院入試情報開示請求書(様式は次頁のとおり)

② 平成30年度鹿児島大学大学院農学研究科受験票

③ 返信用封筒(長形3号封筒に392円分の切手を貼付し、受験生の住所、氏名を明記したもの)

※郵送による請求の場合は、本人確認のため、問い合わせをする場合がありますので、必ず電話番号(携帯可)を記入してください。連絡が取れない場合、開示できないことがあります。

(3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

5. その他

平成29年度以前の入学者選抜試験個人成績は開示しません。